



申12号 2024年度年末手当に関する申し入れ



本部激励行動実施！

11月9日、上野支部は「本部激励行動」を実施し、団体交渉への激励と職場の声を輸送サービス労組本部に届けてきました。

11月7日に第2回交渉が開催されました。会社は、新幹線のご利用状況や中距離収入について伸び悩んでいると主張していますが、要員不足や経験則を蔑ろにした人事施策の失敗などから発生している多くの事象が、鉄道の信用を失っていることも要因の一つであり、会社経営の問題ともとれます。

また、「11月8日に指定していた回答指定日」に会社は回答をしませんでした。これは前代未聞の由々しき事態であり不誠実交渉だと通告しています。

発表された第2四半期決算では全セグメントで増収増益となりました。この好調な業績は、日々職場で奮闘する組合員・社員があつてこそその業績だといっても過言ではありません。史上6番目となった今回の業績に見合った手当を求めることは当然です。「ベースアップ以上の物価上昇の中、手当ですら生活給にせざるを得ない」、「過去の人件費率を見ても、今の方が低くなっている」、「施策を担っている。人への投資は必要だ」などの根拠を基に、本部交渉を職場から支え、会社に満額回答を求めていきましょう！

会社は直ちに回答を示すべきだ！好調な業績の社員への還元、私たちの生活の為にも、本部と共に満額回答を求めましょう！